

道徳だより



テーマ：道徳教育研究会って、どんな研究会なの？

令和 5 年 9 月
京都市立道徳教育研究会
広 報 部
(第 3 号)

育成 部会

部会のテーマ

部 長 宮田 勝行 (鳳徳小)

「障がいのある子どもたちのニーズに合った道徳教育のあり方」

育成学級は、各校によって児童の発達や特性に違いがあるので、共通の教材で研究するというのが難しいです。そのため、部会のメンバーが指導力を高めていけるように、それぞれの担任が日々の道徳の授業で実践していることを交流し合っ、指導の幅を広げることを行っています。

7人の担任が所属しているので、3人ずつ自分の授業内容を報告し、意見を交流し合うことを年間3回行います。第1回目は、8月25日(金)18時から総合教育センターで行いますので、「育成学級の道徳って、どうしているの?」と関心をもっておられる方は、ぜひお越しください。

部会のテーマ

部 長 安藤 友里 (桃山南小)

～授業づくりで悩んだときはteamでどんどん交流。

誰もが自由に交流し合える低学年部会を目指して～

低学年部会では、日々の授業実践や悩みをTeamsで自由に交流し合えるようにしています。うまくいった授業だけを交流するのではなく、準備不足だった授業、あ～もっとこうすればよかった等の授業も含めて板書を中心に自由に交流することで、互いに刺激し合い、実践につなげていけたらと考えています。また、部会もオンラインで参加できるようにしています。6月30日(金)の第1回部会は、オンライン参加も含めて9名の先生方が参加してくださり、研究大会に向けての教材選びや日頃の授業について交流しました。次回は、9月初旬頃に第2回目の部会で、指導案検討や授業交流等を行う予定です。子どもたち一人一人の思いを引き出し、深めていける授業を一緒に考えていきませんか?初めての方も、少しでも興味があれば、桃山南小の安藤までご連絡ください。一緒に道徳について楽しく学びましょう!

低学年 部会

道徳教育研究会は、育成部会、低学年部会、中学年部会、高学年部会の4つに分かれて活動しています。教具や指導技術の交流、お悩み相談や授業・指導案検討など、明日の授業につながる取組が充実しています。総合教育センターで集まることが多いですが、オンラインで参加する先生方もたくさんいらっしゃいます。興味がおありの方はぜひ一度ご参加ください。(文責 保本 貴之) [研究会HPはこちら](#) →



部会のテーマ

部長 大平 龍之介 (御室小)

中学年部会

「伝え合う・つながり合う～価値 他者 人間理解を通して、

自己の生き方についての考えを深め合うことのできる道徳の時間～」

昨年度のテーマを軸に今年度のテーマを設定しました。どの学年でもそうですが、自己の生き方を深めるといふところにむけて授業づくりを進めていけたらと考えています。中学年の発達段階を生かした発問や役割演技等を考えていきたいです。また、日々の道徳科の授業の悩みや、道徳主任や推進教師の仕事内容の共有など、それぞれの学校の取組の良さを共有し、発信していきます。

第1回の中学年部会では、1月の研究大会の授業者、その事前の授業者が決まりました。また教材は4年「あめととのさま」に決まりました。月1回、部会を開き、第2回以降の部会では、この教材研究を中心に進めていきます。教材研究を通して、指導力や授業への意欲を少しでも高めていくことができたらと思っています。また Teams での中学年部会のところでも板書の公開や授業づくりの悩みの相談をしていきます。オンライン上でも中学年部会を活性化していきます。

部会のテーマ

部長 酒井 理恵 (向島秀蓮小中)

考えをアウトプットする楽しさを知り、自己の未来につながる授業づくり

高学年の児童は、自分のものの見方や考え方についての認識が深まることから、相手のものの見方、考え方との違いをそれまで以上に意識するようになります。だからこそ、自分自身の考えを持ち、それをお互いにアウトプットし合うことで、新たな気付きを得たり、お互いの考え方の重なりや違いを見つけてさらに考えが深まっていったりする楽しさを感じることができるよう授業をつくっていきたくと思います。そのために、1つの教材に絞って教材研究を進め、授業公開などを通して練り上げていきたくと考えています。今年度は『ブランコ乗りとピエロ』という教材で、「相互理解・寛容」という価値について、アウトプットする楽しさを感じながら考えを深めていけるような授業を作っていきたいと思っています。

とても有名な教材ですが、「うまく価値を深められなかったことがあった」という体験談も部会では多く出ました。より子どもたちの心に響き、考えを深め合う楽しさに気付くことができるような授業の進め方について、一緒に考えてみませんか。ぜひご参加ください。

高学年部会